

## 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場等における木材利用について

## 日本スポーツ振興センター（JSC）が整備する競技会場

令和2年1月時点

施設名	対応状況	木材利用 見込量	木材利用の状況
国立競技場	令和元年11月竣工	約2,000 m <sup>3</sup>	屋根の構造材にハイブリッド材を使用（木材＋鉄骨） 建物外周の軒庇に木材を使用 内装の木質化

## 東京都が整備する主な競技会場

施設名	対応状況	木材利用 見込量 (※)	木材利用の状況
東京アクアティクスセンター	令和2年2月竣工予定	約15 m <sup>3</sup>	内装の木質化
海の森水上競技場	令和元年5月竣工	約55 m <sup>3</sup>	内装の木質化
有明アリーナ	令和元年12月竣工	約800 m <sup>3</sup>	屋根の構造材にハイブリッド材を利用（木材＋鉄骨） 内装の木質化
カヌー・スラロームセンター	令和元年5月竣工（競技コース） 令和元年12月竣工（管理棟）	—	内装の木質化（管理棟）
大井ふ頭中央海浜公園 ホッケー競技場	令和元年6月竣工	—	内装の木質化（スタンド棟） 伐採樹木の有効利用
夢の島公園 アーチェリー場	平成31年2月竣工	—	伐採樹木の有効利用
有明テニスの森公園 テニス施設	令和元年7月一部竣工 令和2年3月竣工予定	約430 m <sup>3</sup>	屋根の構造材に木材を利用 （クラブハウス・インドアコート棟） 伐採樹木の有効利用

## 大会組織委員会が整備する主な競技会場等

施設名	対応状況	木材利用 見込量	木材利用の状況
選手村ビレッジプラザ	令和2年4月竣工予定 (使用木材について 地方自治体を対象に公募)	約1,300 m <sup>3</sup>	ビレッジプラザは、日本の伝統・文化を体感できるよう木造とする。仮設であるため、全国の地域から提供された木材を利用して建設し、大会後は地域で再利用するスキームとしている。
有明体操競技場	工事完了	約2,300 m <sup>3</sup>	屋根の大梁、外壁等に木材使用を予定。その他、コスト・効果を検証して発注仕様を決定

## 選手村の宿泊棟

施設名	対応状況	木材利用 見込量 (※)	木材利用の状況
宿泊棟（住宅棟14～18階 建）21棟	令和元年12月竣工	—	床材や建具で木材を使用

※利用見込量は精査中